

第82号

# 酪農とちぎ

## 第39回 栃木県酪農発表会



2月6日開催栃木県酪農発表会にて発表者の記念撮影より

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 平成26年乳代集計結果について
- 3 ページ 東西南北（各支所）
- 4 ページ 農業士認定
- 4～6 ページ 部課だより（購買企画課、指導企画課）
- 7 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績



# 平成26年乳代集計結果について

## 生乳生産実績

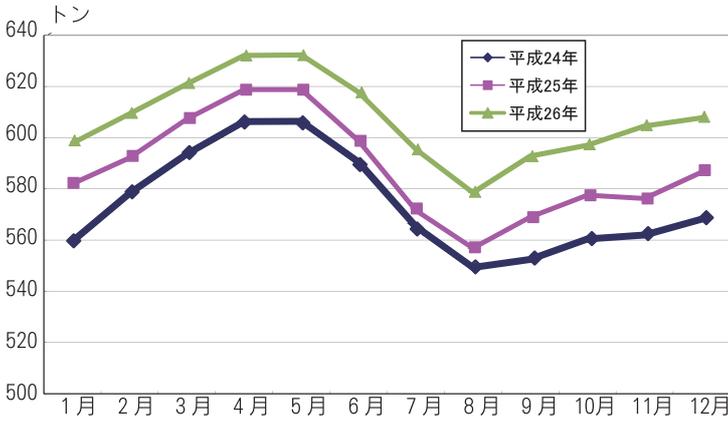


図1 日量の推移

平成26年1～12月の生乳生産量は22万1612tで、22万tの大体に乗りました。日量の推移(図1)を見ますと上昇傾向にあり、(1)をみますと上昇傾向にあり、次年度は更に伸びると予想されています。

出荷戸数は表1の通り、後継者

問題、年齢による引退などの理由により減少傾向に底打ち感はありません。残念ながら次年度以降も同様な傾向にあると言わざるを得ません。

表2の1頭当り乳量は、夏季の天候に影響されるものの徐々に上がってきており、技術・飼養環境の向上がうかがえます。

表3の1戸当り飼養頭数は、平成26年は組合全体の平均値において前年差5・4頭となりました。更に大型化が進む見通しです。

表1 出荷戸数

	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月	平成26年12月
那須高原支所	338	331	325	306	295
宇都宮支所	99	93	93	87	85
県南支所	109	105	103	98	96
合計	546	529	521	491	476
前年比	95.8%	96.9%	98.5%	94.2%	96.9%

表2 一頭当り乳量

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
那須高原支所	8,195.8	8,126.1	8,305.1	8,408.6	8,631.9
宇都宮支所	8,528.9	8,309.7	8,708.3	8,751.0	8,890.0
県南支所	8,171.8	7,988.8	8,327.1	8,139.4	8,296.2
平均	8,241.8	8,115.6	8,367.6	8,388.2	8,584.3

表3 一戸当り飼養頭数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
那須高原支所	63.1	65.0	66.6	69.3	76.9
宇都宮支所	58.6	58.5	59.8	61.7	64.1
県南支所	70.9	74.6	79.9	83.3	84.2
合計	63.8	65.6	68.0	70.6	76.0
前年差	1.7	1.8	2.4	2.6	5.4

## 乳価

図2に支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)を示します。毎年のことですが、3月、8月、12月に乳価が落ち込むのは、学校の長期休み等の影響によるものです。

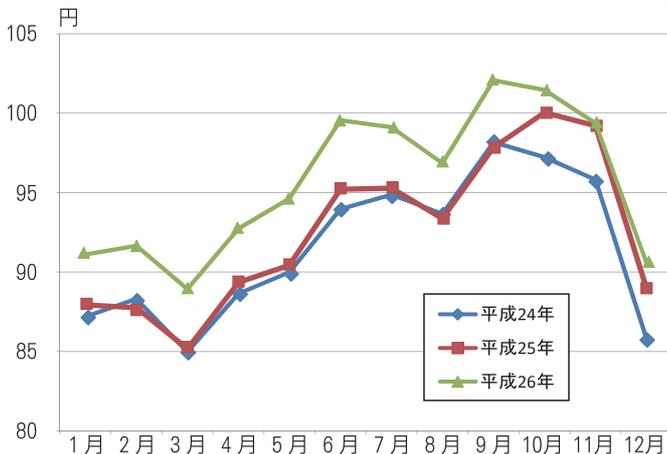


図2 支払乳価

平成25年10月に飲用向け5円値上げがあり、今年の4月からは飲用向けと発酵乳向けで3円の値上げが予定されており、国内の生乳生産量の減少に歯止めがかからないことから生産基盤の回復を目的に生乳取引価格の引き上げに至りました。

また、1月下旬に乳代精算集計表を組合員の皆様にお届けしたところですが、平成26年4月には消費税が8%、平成25年より配当金の源泉税の実効税率が20・42%となっておりますのでご注意願います。



# 東西南北

## 那須高原支所

### 第13回ボウリング大会を開催

2月4日、那須高原支所活動推進協議会（田代和一会長）主催による第13回ボウリング大会が、黒磯ボウル（那須塩原市）及び王冠ボウル（大田原市）の2会場で140名の参加のもと盛大に開催されました。



当日は、組合員とその家族・従業員などが参加し、和やかな雰囲気の中でも白熱したゲームが行われ、各会場・各レーンともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。競技終了後は、榊原会館に会場を移し懇親会が行われ、近況等情報交換をしながら、おいしい食事をしていただき、各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。

また表彰式では、ボウリング場ごとに団体賞表彰と個人賞表彰が行われ、関係団体から協賛して頂いた沢山の賞品が入賞者に贈られました。参加された方は明日への活力

に繋がる楽しい一日となったことと思います。なお、各部の優勝は次の通りです。

#### ●黒磯ボウル

団体の部 那須高原班チーム  
個人の部

男性 薄井 敬幸さん（青木）  
女性 齊藤日出子さん（青木）

#### ●王冠ボウル

団体の部 塩原班チーム  
個人の部

男性 内田 卓さん（鹿野）  
女性 長浜寿美子さん（鹿野）

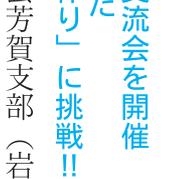
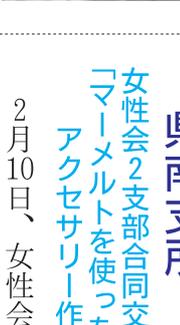
## 宇都宮支所

### 『ロールラップ・乾草バンド』の簡単な結束法の紹介

毎日出るロールラップや乾草バンドがかさ張り、置き場所にお困りではないでしょうか？

今回は低価格で便利な結束方法を実践している仲山日出男さん（高根沢町）の結束箱を紹介します。

I ロールラップ結束箱  
角材とコンパネを縦50cm、横90



cm、高さ60cm（サイズは自由）に組み合わせます。次にひもを引掛ける溝をのこぎり等で縦1箇所、横2箇所を切れ目を入れ、その中にひもを通せば完成です（取り出し用に取っ手もつけています）。

ひもを垂らした状態でラップフィルムを投入し積み重ねます。ある程度溜まったら、人が踏みつけ、ひもで縛り、木枠を抜き取ればコンパクトに大量のラップフィルムが重なります。（写真I参照）

#### II 乾草バンド結束箱

乾草バンド用は縦20cm、横90cm、高さ30cmです。横2箇所縛れるようにしてあり、縛るまではバラけてしまうため重りを載せておきます。（写真II参照）

自給飼料確保が求められている現在、ロールのラップフィルムや乾草バンドは産業廃棄物としての酪農家も困っている状況です。このようにきちんと積み上げておけば、産廃業者への搬入や回収時に大変便利だと思えますので、ぜひ参考にしてみて下さい。

#### 〔写真II〕



## 県南支所

### 女性会2支部合同交流会を開催

#### 「マーメルトを使った

#### アクセサリー作り」に挑戦!!

2月10日、女性会芳賀支部（岩

渕英子支部長）と河内南部・下都賀支部（藤田洋子支部長）の合同交流会が、県南支所会議室にて開催されました。

芳賀支部18名、河内南部・下都賀支部12名の計30名が参加し、今年度は日本ハンギングバスケット、レカンフラワー等のインストラクターとして活躍される田仲陽子氏を講師にお招きし、マーメルトのアクセサリー作りを体験しました。

マーメルトは熱を加えると溶けるメタリック樹脂で簡単に加工ができます。数色の樹脂を組み合わせ、ホットプレート上で溶かし、リップパーを使用して溶けた樹脂を伸ばして好きな模様を作り、樹脂が固まったらレジジンでコーティングをして完成です。

皆さん、好みの色を組み合わせ、グラデーションを作ったり、丸型やひし形、少し凹凸をつけたりと工夫を凝らして、世界に一つだけしかない素敵なアクセサリーを作っておられました。

完成後は、お互いのアクセサリーを見せ合いながら「また挑戦したい」「もっと作ってみたい」等の声を沢山聞くことが出来ました。年に一度の交流会、お互いの親睦を深める大変有意義な時間となりました。



# 農業士認定

平成26年度県農業士認定式が1月9日栃木県公館で行われ、農業士10名、女性農業士3名、名誉農業士7名が新たに認定され、福田富一知事より認定証書が授与されました。

今年度の認定により、農業士は178名、女性農業士は114名、名誉農業士は173名となります。本組合からも農業士に次の2名の方が認定を受けました。

## 農業士

皆川 美範みなかわ よしのりさん（那須烏山市）

（配偶者）皆川由美子よしみこさん

羽石 智昭はねいし ともあきさん（茂木町）

（配偶者）羽石美智子みちこさん

今回認定された皆様には、心よりお祝いと、農業社会における農村地域の活性化や酪農発展に、更なるご活躍を祈念申し上げます。



羽石さんご夫妻



皆川さんご夫妻

## 部課だより

### 購買企画課

#### 平成26年度購買利用推進女性研修会

2月20・21日の2日間、総勢180名参加のもとエピナール那須に於いて、購買利用推進女性研修会が開催されました。

今回は、エフエム栃木アナウンサーとしてお馴染みの、鹿島田千帆氏を講師とした講演を行いました。

「幸せのレシピ」〜栃木でワーク&ライフ〜という演題のもと、



鹿島田千帆氏



#### 和気あいあいの懇親会

ご本人の体験を織り込みながら、女性が人生の中で働きながら新しい事に挑戦する事の大切さをお話しいただきました。

懇親会は役員、協賛メーカー代表の挨拶と続き、「那須だいき牛乳」での乾杯の後はホテル自慢の料理を頂きながら、和やかな歓談となりました。

そして、懇親会のメインイベント「抽選会」が賑やかに行われ、くじを引く人、当選する人の歓びの声で大いに盛り上がりました。

今回もお忙しい中、多数のご出席をいただき無事に開催する事ができました事を厚く御礼申し上げます。また、生産資材の供給につきま

しても組合員の皆様に満足していただけるものを提供できるような力を入れて参りますので今後とも組合購買事業の利用推進にご支援、ご協力下さいますようお願いいたします。



# 指導企画課

## 第39回栃木県酪農発表会を開催



「夢」に向かう  
大切さを発表する  
佐藤さん

2月6日、栃木県酪農協会主催による栃木県酪農発表会が、宇都宮市「ホテル東日本宇都宮」において、約140名の酪農家及び関係者が参加のもと開催され、酪農協会の石川会長並びに栃木県酪農青年女性会議の小野寺委員長のご挨拶で始まりました。

まず、酪農経営発表部門では、大田原市の前田宏さん（栃酪）が「地域と共に歩む酪農経営」と題して発表されました。前田さんは、個体乳量増を求め伸ばした結果、事故により淘汰を増やしてしまっただけでなく、牛に無理をさせず健康に生乳を出してもらおう経営を心がけると共に、酪農だけではなく地域の仲間との活動や消費者へのPR、地元小学校クラブの監督な

ど、地域活動にも積極的に貢献しながら、高い生産性を保った経営の実践を述べられました。

次に、酪農意見体験発表部門では、那須塩原市の佐藤綾子さん（酪農とちぎ）が、「夢は見るもの、夢は叶えるもの」と題して、発表されました。佐藤さんは、趣味も楽しみながら日量2トンの目標に向け、夫である一男さんと夫婦二人三脚で、やっとの思いで目標の日量2トン達成されました。今後にも拡大を考えていた矢先に「那須水害」が発生……。全てを濁流に流されながらも、酪農で得たやりがい、喜びをまた分かち合いたいとの思いが家族で一致し、再建を決意されました。そして、困難な事が次々と降りかかってきますが、明確な目標と強い気持ちを持つて夢に向かえば、いつか必ず実現する事が出来るという強く熱い気持ちで発信する発表でした。

また、自由発表部門では、那須拓陽高校の渡邊淳一さんが「牛飼になるために」、真岡北陵高校の鷺谷侑香さんが「私の酪農」と

題して、それぞれ発表されました。お二人とも高校生の若いパワーで、自身の酪農に対する思いの丈を熱く語られました。

最後に、今回の発表会へは、数多くの酪農の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

## 青年部研修会を開催



2月17日、酪農とちぎ青年部本部（小針勤部長）主催による平成26年度青年部研修会が、総勢45名参加のもと、さくら市の塩谷地方農業共済組合にて開催されました。

本年は、きくち酪農コンサルティング(株)菊地実氏を講師にお招きし、「牛から学ぶ酪農経営の勘所」と題してご講演を頂きました。

講演では、菊地先生が実際に現場を歩いて訪問している酪農家の写真や映像を用いながら、改善点を参加者に質問し、沢山のキャッ

チボールを交えて解説をして下さいました。

その中でも特に興味深い内容として、牛舎の「漏電」についてお話がありました。菊地先生の訪問する牛舎でも牛舎のアースと漏電について調査をした結果、約4割の農場で異常が発見されたとの事でした。アースが正しく設置されず、牛舎内に漏電が発生すると、ミルクに微小な電流が流れ、牛が搾乳を嫌がったり、水槽に流れれば飲水量が低下する等、様々な影響が出るとの事で、電気のプロの方に依頼し、一度自分の牛舎の漏電状況をチェックすると良い、との話に、参加者一同驚かされました。

その他にも、沢山の為になる貴重なお話を伺い、大変有意義な研修会となりました。

青年部本部では、部員の皆様の経営の一助となるような活動を今後も実施して参ります。部員の皆様から「こんな事をやって欲しい！」等、ご意見がございましたら、お近くの青年部本部役員へご一報下さい。



● 乳牛飼養動態調査結果

1月1日現在での乳牛飼養動態調査を実施した結果が取りまとめられましたので、以下のとおりご報告します。

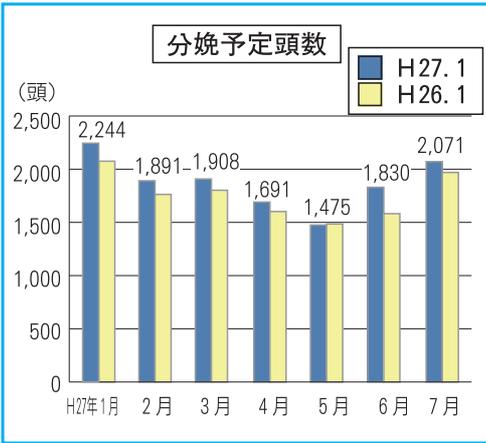
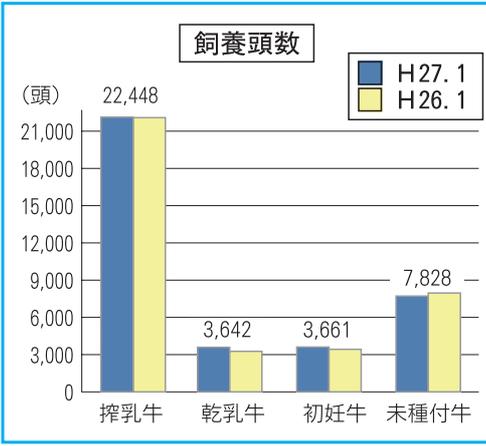
1 出荷者戸数について

前年1月と比較すると酪農中止は15戸(団体公共を除く)となり、出荷者は前年同月比3.1%減の472戸となった。廃業の理由は、高齢や後継者がいない9戸、経営転換や他産業への転業2戸、経営不振2戸、死亡・病気療養その他2戸であった。なお、酪農中止者15名の廃業時の飼養頭数は243頭であった。

2 飼養頭数について

団体を除く飼養頭数は、前年1月より311頭多く前年同月比100.8%の3万7579頭であった。

内訳は、経産牛は前年1月比1.4%増加し2万6090頭、自家育成牛は前年比3.7%減少し8



854頭、外部預託牛は前年比11.9%増の2635頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は3.1頭増加し、79.6頭で前年に引き続き増加している。なお、搾乳牛は前年より0.2%増加し2万2448頭、乾乳牛は9.9%増の3642頭であった。

3 分娩頭数について

7月までの分娩予定頭数は、前年分娩実績に比べ843頭増加し1万3110頭となっている。単月で見ると、5月が前年同期と比較し0.7%減少しているものの、その他の月では平均8.1%の増加(6月が最大で15.7%)が見込まれ、7月までの予定頭数は前年比84.3%の増加となることから、平成27年度上期は昨年以上の出荷乳量が期待できると思われま

乳牛飼養動態調査表

(平成27年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数						月別分娩予定頭数												
			経産牛		自家育成牛		外部預託牛		合計	育成牛保有率(%)	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	(カッコ内は内数で性判別精液での分娩。H26.1は同月実績)							合計	
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊牛					未種付牛	H26.1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月
那須高原	H27.1	295	14,241	2,182	16,423	1,662	3,859	723	1,170	23,837	31.10	80.8	806	1,397(71)	1,169(57)	1,197(53)	1,104(40)	969(35)	1,162(53)	1,371(67)	8,369(376)
	H26.1	304	13,907	2,003	15,910	1,843	3,894	481	1,184	23,312	31.75	76.7	567	1,257	1,102	1,129	1,065	997	1,022	1,189	7,761
	増減	▲9	334	179	513	▲181	▲35	242	▲14	525	-0.65	4.1	239	140	67	68	39	▲28	140	182	608
宇都宮	H27.1	82	2,983	478	3,461	506	1,226	108	284	5,585	38.03	68.1	48	306(12)	264(19)	255(20)	215(20)	177(12)	247(17)	251(13)	1,715(113)
	H26.1	86	3,084	459	3,543	498	1,303	90	279	5,713	37.98	66.4	67	305	222	213	202	180	200	241	1,563
	増減	▲4	▲101	19	▲82	8	▲77	18	5	▲128	0.05	1.7	▲19	1	42	42	13	▲3	47	10	152
県南	H27.1	95	5,224	982	6,206	542	1,059	120	230	8,157	23.92	85.9	23	541(19)	458(12)	456(15)	372(7)	329(8)	421(7)	449(9)	3,026(77)
	H26.1	97	5,417	852	6,269	458	1,196	101	219	8,243	23.95	85.0	26	513	428	460	335	308	360	539	2,943
	増減	▲2	▲193	130	▲63	84	▲137	19	11	▲86	-0.03	0.9	▲3	28	30	▲4	37	21	61	▲90	83
小計	H27.1	472	22,448	3,642	26,090	2,710	6,144	951	1,684	37,579	30.57	79.6	877	2,244(102)	1,891(88)	1,908(88)	1,691(67)	1,475(55)	1,830(77)	2,071(89)	13,110(566)
	H26.1	487	22,408	3,314	25,722	2,799	6,393	672	1,682	37,268	30.98	76.5	660	2,075	1,752	1,802	1,602	1,485	1,582	1,969	12,267
	増減	▲15	40	328	368	▲89	▲249	279	2	311	-0.41	3.1	217	169	139	106	89	▲10	248	102	843
※1 団体	H27.1	3	32	10	42	9	9	0	0	60	30.00	20.0	32	4(0)	4(0)	0(0)	4(1)	0(0)	3(1)	7(0)	22(2)
	H26.1	3	37	9	46	8	27	0	0	81	43.21	27.0	27	3	4	1	0	0	2	4	14
	増減	0	▲5	1	▲4	1	▲18	0	0	▲21	-13.21	▲7.0	5	1	0	▲1	4	0	1	3	8
合計	H27.1	475	22,480	3,652	26,132	2,719	6,153	951	1,684	37,639	30.57	79.2	909	2,248(102)	1,895(88)	1,908(88)	1,695(68)	1,475(55)	1,833(78)	2,078(89)	13,132(568)
	H26.1	490	22,445	3,323	25,768	2,807	6,420	672	1,682	37,349	31.01	76.2	687	2,078	1,756	1,803	1,602	1,485	1,584	1,973	12,281
	増減	▲15	35	329	364	▲88	▲267	279	2	290	-0.44	3.0	222	170	139	105	93	▲10	249	105	851

※1 H27.1の団体件数は高校1校、大学2校、H26.1の団体件数は高校2校、大学1校。



# 生乳販売課

平成27年2月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し105.1%（1万7934t）と、40ヶ月連続し前年を上回る生産です。累計の受入乳量は、那須高原支所12万8426t（前年比107.1%）、宇都宮支所2万8536t（前年比98.5%）、県南支所4万7156t（前年比98.6%）、合計で20万4118t（前年比103.8%）となり、那須高原支所の生産量が大きく前年を上回る状況が続いています。出荷者数は、前年同月より15戸減の474戸（内、学校は3校）でした。

2月度及び年平均乳質は、脂肪率は年間を通し下回る状況、無脂固形分率については当初前年を下回る状況でしたが回復し、現在は3ヶ月連続で前年を上回る状況で推移し、細胞数は年明けより上回る状況です。

尚、2月度の累計不合格件数は801件となり、前年（1,029件）を大きく下回りました。

関東生乳販連の2月総受託乳量は、昨年同月は雪害があったことから、28ヶ月振りに前年を上回る状況となりましたが、累計では97.9%、マイナス2万2049tの状況です。

また、用途別の販売数量は、生乳生産量が前年を上回る状況でしたが、飲用向け前年比99.4%と振るわず、加工向けは121.5%と、前年を大きく上回る値です。尚、2月度の累計値については、生乳生産量が前年比97.9%に對

関東生乳販連用途別販売数量

(単位: kg・%)

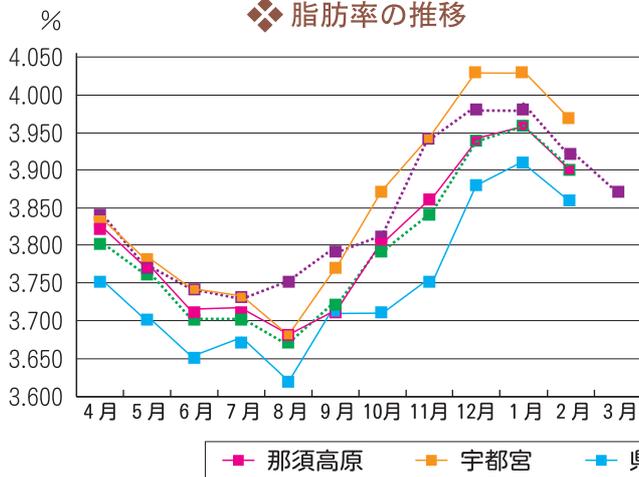
用途	2月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	64,478,771	64,891,967	99.4	747,342,260	765,508,494	97.6
(うち学校向け)	12,343,530	11,974,701	103.1	113,691,670	116,108,274	97.9
はっ酵乳向け	11,284,196	11,747,705	96.1	142,732,880	146,454,650	97.5
特定乳製品向け(加工)	9,664,599	7,952,462	121.5	96,339,783	96,492,477	99.8
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,813,197	1,774,695	102.2	20,595,879	20,532,368	100.3
チーズ向け	50,978	56,804	89.7	632,855	705,063	89.8
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	87,291,741	86,423,633	101.0	1,007,643,657	1,029,693,052	97.9
加工比率	11.07	9.20	-	9.56	9.37	-

し、飲用向けが97.6%と若干下回り、加工率については9.56%と前年（9.37%）を若干上回る状況でした。

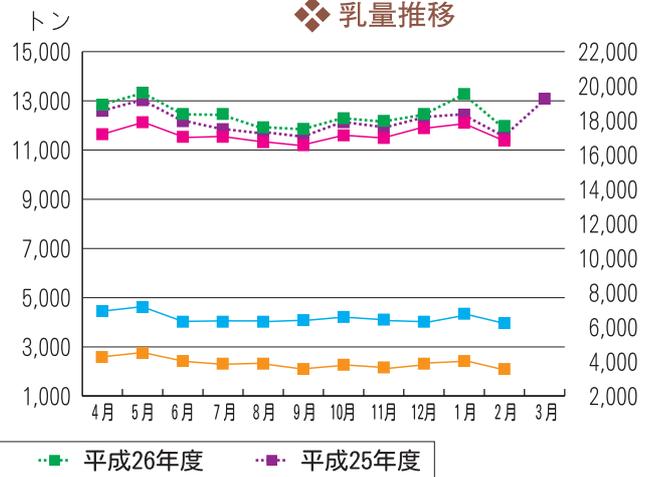
2月の全国の生産量は、北海道が前年比100.7%と4ヶ月連続し前年同月を上回る状況でしたが、前年比99.9%に留まりました。また、都府県は前年同月比98.9%と、28ヶ月連続して前年割れが続いています。

尚、平成27年2月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

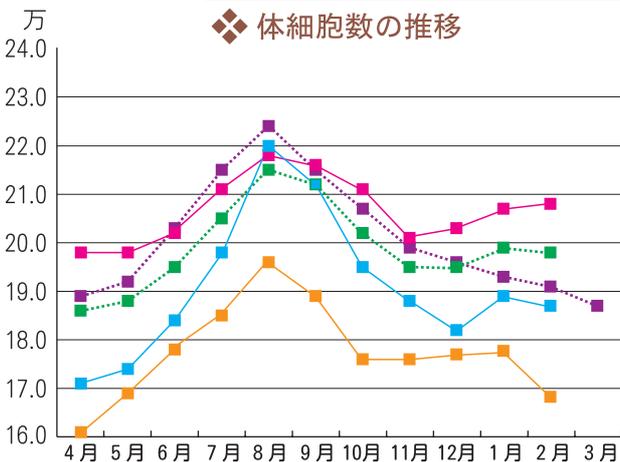
◆ 脂肪率の推移



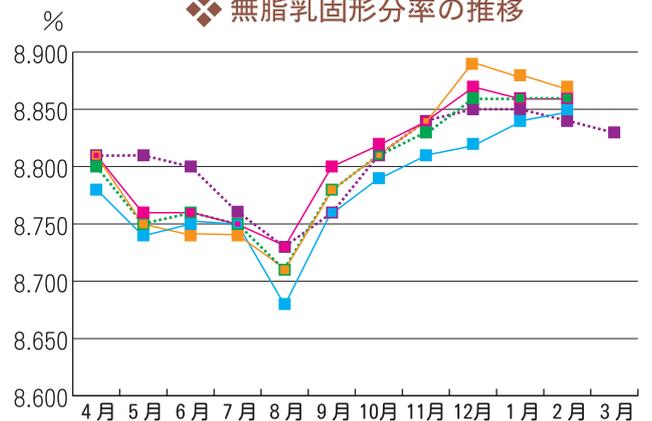
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 理事会だより

## 12月度理事会 (12月26日)

### 報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 年末手当の支給について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (七) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 平成26年度組合購買利用推進女性研修会の実施について
- (三) 旧県南支所敷地整備工事に係る施工代行について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 生乳生産管理チェックシート記帳・記録状況について
- (七) 乳牛飼養動態調査結果について
- (八) 子会社等の第3四半期事業実績について
- (九) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
- (二) 緊急酪農生産基盤安定確保対策の実施について
- (三) 役員に対する日当等の取扱いについて
- (四) 役員退任給与金積立・支給規程の改正について
- (五) 時間単位の年次有給休暇について
- (六) 第14回酪農まつりについて
- (七) 酪農とちぎ畜産クラスター協議会の設立について
- (八) 固定資産の取得について

## 2月度理事会 (2月27日)

### 報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 役員報酬等審議会答申について
- (七) 関東生乳販連情報について
- (八) 平成27年度畜産物価格及び主要な関連対策について

### 協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 平成26年度割当量の超過・未達の取扱いについて
- (三) 平成27年度生乳計画生産について
- (四) 生乳乳質保全規程の一部改正について

## お知らせ



- (五) 乳質共励会実施規程の一部改正について
- (六) 平成27年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨励措置について
- (七) 後継牛安定確保対策事業について
- (八) 固定資産の取得について
- (九) ふれあい牧場軽油地下タンク、ライニング施工工事について
- (十) 組合と理事との契約について

### 第14回酪農まつり

とき 平成27年4月11日(土)  
ところ 栃木県畜産酪農研究センター  
(那須塩原市千本松298)

### 平成28年4月新規採用職員募集

採用予定者 平成28年度3月末大学・短大の卒業見込者及び既卒者 若干名  
願書受付期間 平成27年5月29日(金)まで  
採用試験日時 平成27年6月13日(土)  
一次(筆記) 平成27年6月13日(土)  
二次(面接) 平成27年6月23日(火)

詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。  
お問い合わせ先  
☎〇二八―六六〇―二二二一  
総務部まで

## 2月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位：千円 (税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月4日	506	393	77.7%	578	55	37	705
根室	2月5日	466	336	72.1%	565	36	23	698
北海道	2月6日	142	118	83.1%	522	9	6	755
豊富	2月13日	300	181	60.3%	529	3	0	0
釧路	2月17日	284	192	67.6%	574	1	1	759
十勝	2月18日	752	565	75.1%	578	63	56	720
北見	2月19日	390	242	62.1%	554	8	1	652
根室	2月26日	405	349	86.2%	597	27	26	691
合計		3,245	2,376	73.3%	570	202	150	709
前月		2,361	1,969	83.4%	578	158	144	751
前年同月		3,308	2,613	79.0%	560	224	176	642

初妊牛の今後の動向は、6月分娩腹が中心となります。価格については夏分娩前の需要が集中することに加え、都府県及び道内の導入意欲も強いことから高値維持が続くと思われま。導入を希望される方は、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

## 2月度 県内家畜市場成績 (単位：円 (税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須(2/25)	F1雄	97	94	57	228,960	48,600	150,488	▲4,727
	F1雌	74	71	54	160,920	23,760	107,605	404
館林(2/27)	ホルス雄	1	1	59	-	-	30,240	▲12,960
	F1雄	21	21	98	243,000	157,680	217,594	▲10,032
	F1雌	22	22	91	173,880	91,800	134,755	▲35,993

初生牛の取引価格は高値相場から落ち着いた傾向で推移しています。素牛相場や枝肉相場等の動向で価格も影響しますが、F1は前回に比べ横ばいから安値傾向で取引されております。

